



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



東京で学ぶ
京大の知
シリーズ19

「家族」は どこへ行く?

[主催] 京都大学
[講演時間] 各回18時30分～20時

参加費無料

私たちの多くは、何らかの形で「家族」の一員です。世の中には、無数の「家族」があり、様々な「家族」の役割や形があります。今回は、家庭での教育や役割の変化、雇用社会との関わり、さらに多様化する「家族」の事例として事実婚や同性婚まで踏み込み、政策や時代、国際比較をからめながら多角的に「家族」に迫ります。今、あらためて「家族」を見つめてみることで、私たちの暮らしや世の中、そして「これから」にきつと新たな発見があるはずです。

第1回 10月14日(水)

小山 静子
国際高等教育院教授



教育家族のゆくえ

— 愛護され、教育される子どもたち —

教育家族とは、親が子どもの教育に熱心に取り組む家族のことをさします。このような家族は、現代人にとっては「当たり前」のものですが、どのようにして生まれ、今どこに向かっているのか、考えたいと思います。

第2回 10月21日(水)

伊藤 公雄
文学研究科教授



あれも「家族」、これも「家族」

— 多様化する「家族」と家族政策 —

社会の変化のなかで家族の形が多様化し、事実婚や同性婚など、これまでない「家族」も生まれています。イタリアやフランスなどと比較しつつ、日本の家族の過去・現在・未来について、家族政策とからめつつ考えてみようと思います。

第3回 10月28日(水)

岩井 八郎
教育学研究科教授



縮小する日本らしさ

— ライフコースと家族の40年 —

1970年代半ば以降の40年間は、日本の家族のユニークさが浮き彫りになった20年間と、それが失われてきた20年間に分けられます。女性の雇用労働化、若者層の経歴の不安定化など、最近の実証研究の成果とともに家族のこれからを考えます。

第4回 11月4日(水)

久本 憲夫
公共政策大学院教授



ワーク・ライフ・バランス

— 家族の問題、それとも社会の問題? —

ワーク・ライフ・バランスという言葉は一般化しましたが、その実現はほど遠いままです。家族を形成しない人も増える現代において、容易なことではありませんが、家族と雇用社会の在り方を考え直してみたいと思います。



■ 開催場所・問い合わせ先

京都大学 東京オフィス 東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟27階

TEL: 03-5479-2220 FAX: 03-5479-2221 E-mail: t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/>

申し込み方法 [お申し込みはWEBまたはFAXで]

京都大学ホームページからWEBでお申し込みいただくか、申込用紙をダウンロードしFAXでお申し込み下さい。各回定員100名、締め切りは10月5日(月)です。全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいただくことも可能です。なお、定員を超えるお申し込みをいただいた場合は抽選とさせていただきます。



! スマートフォン・携帯電話・タブレット端末から上記QRコードを読み取り、京都大学のホームページにアクセスください。